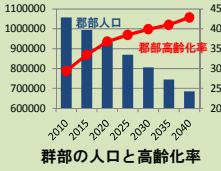


農村集落における生活環境の創出と産業振興に向けた対策手法の構築

実施機関：中央農試、十勝農試、根釧農試、工試、林業試、地質研、さけます・内水面水試、釧路水試

背景と目的

少子高齢化・人口減少の進行による地域課題



- ・市町村財政の悪化
 - ・生活利便性の低下
 - ・地域産業の衰退
- ⇒地域維持・運営が困難

人や財源が減少しても、資源(人・物・金)が循環し豊かに暮らし続けられる地域

新たな地域像

- ④新規業者等の増加による人口減の緩和
- ③産業・雇用の創出による地域経済の活性化



- ①インフラ等再編・集落ネットワークの構築による地域運営の効率化・生活維持
- ②地域運営の効率化により地域資源(人・物・金)を生活サービス・産業育成へ

研究の目的

人口減少・高齢化が進む農村集落を主な対象として、暮らしと産業の好循環による地域の安定的な維持・発展を図るために、生活環境の維持・向上と産業振興を支援する手法を開発することを主な目的とする。

研究内容

モデル地域での実践

暮らしを支える

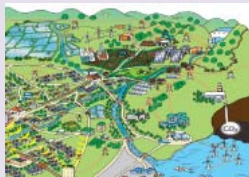
1) 集落の生活環境創出に向けた対策手法の開発

集落単位での将来人口の予測手法を開発し、生活利便性、運営効率性、地域防災力の視点から現状把握と将来課題の明確化を行い、集落の評価手法を開発する。

- ①現状把握と将来課題の明確化及び集落評価手法の開発
 - ・集落単位での人口予測手法の開発
 - ・集落評価手法の開発(生活利便性、運営効率性、地域防災力)

集落の生活維持・向上のため、インフラコストシミュレーション、生活利便性把握手法を活用した集落再編整備手法など各種対策手法を開発し、集落再編のプロセスを提示する。

- ②集落の再編整備手法の開発
 - ・インフラ維持管理コストシミュレーション手法の開発
 - ・生活利便性把握手法の開発
 - ・生活基盤施設の効果的な集約化・多機能化、インフラの再編による集落の再編整備手法の開発
 - ・対策の実施過程の検討
 - ・集落評価指標を用いた効果検討
 - ・目指す集落将来像の検討→集落再編のプロセスの提示



- ③人口減少・高齢化に対応した生活環境の維持・向上手法の開発
 - ・地域事情に応じた冬期集住の実施手法の検討と実証試験
 - ・ICTを活用した高齢者見守り・健康支援システムの開発
 - ・高齢者等の移動手段確保のための交通施策選択支援システムの開発

評価手法開発

対策手法開発

地域産業を支える

2) 産業振興施策構築に向けた対策手法の開発

市町村単位での人口、財政、産業、生活に係る指標を基に地域特性を評価する手法を開発する。

- ①持続可能な地域づくりに向けた人口動態と産業構造に関する統計解析および先行事例調査
 - ・市町村データ(人口、財政、産業、生活に係るデータ)による活性化得点の算出
 - ・地域づくりの先行事例のリスト化

地域特性を踏まえた産業振興施策の策定・実施に向けたコンサルティング手法等を開発するとともに、就業機会の多様化を支援するための技術開発を行う。

- ②産業振興施策の策定・実施に向けたコンサルティング手法の開発
 - ・各市町村の地域特性に基づく各種産業振興施策の立案
 - ・立案した各種産業振興施策の事業可能性調査(FS)の実施
 - ・実施すべき産業振興施策の絞り込み
 - ・産業振興施策の実施に向けた事業化戦略の策定
- ③地域を支える社会的企業と担い手形成システムの確立
 - ・社会的企業の経営安定対策の検討
 - ・社会的企業が地域に及ぼす経済効果等の把握
 - ・新規参入者の受入・定着システムの先行事例調査
 - ・新規参入者の定着率向上方策の検討
- ④就業機会の多様化に向けた産業創出支援
 - ・農作業を対象とした省力・軽労化ツールの開発
 - ・“たらの芽”生産用棘無しタラノキの選抜とクローン増殖技術の開発
 - ・廃校プールを活用したチョウザメ養殖技術の確立
 - ・農業系バイオマスによる分散型エネルギー需給モデルの構築



地域の集落対策を支援

活用

- ・開発された集落評価手法、集落再編整備手法、産業振興施策の策定・実施に向けたコンサルティング手法等の行政支援ツールは、地方自治体における生活環境整備・産業施策立案の場面(利用者は自治体職員やコンサルティング会社等を想定)において広く活用。
- ・開発されたICTを活用した高齢者見守り・健康支援システム、タラノキのクローン増殖技術、チョウザメ養殖技術、農業系バイオマスによる分散型エネルギー需給モデルについては、協力機関や民間企業への技術移転を図る。